

若い世代が参画する 原・浮島地区のにぎわい創出イベントの開催

～食フェスとしての歩みを基盤に、地域を盛り上げる総合イベントへ～



団体名：美よしグループ（代表：宮下正和）

2017年、沼津市商工会の若手有志とともに「はら逸品うまいものフェス実行委員会」を立ち上げ、第1回フェスを開催。その後、2022年より「美よしグループ」としての活動を開始し、イベントの企画・運営に加え、他団体との共催や出店を行っている。

事業目的

- ・人口減少や高齢化で活気が低下する原・浮島地区の課題解決。
- ・若い世代のイベント参画を促し地域の担い手不足を補う。
- ・ラジオ公開生放送と動画配信で地域の魅力を広域に発信する。

現状

はら逸品うまいものフェスは、2023年の第7回で来場者3,000人を記録し、原・浮島地区の秋の食フェスとして定着している。しかし食フェスという性格上、地域課題の解決に直結する取組としては十分とはいえず、今後の課題とされていた。

目標

食フェス→地域を盛り上げる 総合イベントへ

若い世代（学生）のイベント参画
ラジオ公開生放送への感想メール30件
来場者3,500人（+500人）

主要活動と成果

令和6年11月10日（日） はら逸品うまいものフェス （会場：原地区センター広場）

地元FM局によるラジオ公開生放送を行い、イベント出演者のほか、原・浮島地区のお店の紹介や学生の取り組みを紹介した。またYouTubeにて同時配信を行った。



うまいものフェスポスター



ラジオ公開生放送の様子



学生による展示とアンケート

- ・来場者数：4,000人（前年比1,000人増加）
- ・ラジオ局への感想メール：216人
- ・会場参加者による直接投稿：39件
- ・動画配信接続数：274人（最大292人）

・学生による展示・アンケート結果

原・浮島地域の魅力
…独自の魅力をもっとPRして欲しい。（特に観光や文化）
インフラ・生活環境
…生活基盤の改善が求められている。（特に交通や施設）
街づくり・施設
…世代を超えた交流拠点の整備を希望。（特に賑わいと繋がり）

派生イベントの開催

令和7年1月11日（土） WinterFestivalぬま活らぼ （会場：株式会社プラエッジ敷地内）

消防車展示やキッチンカー、吹奏楽団や太鼓の演奏、小児がん治療への支援活動「ゴールドリボン運動」の一環で小学生によるレモネードスタンドを行った。
5月24日（土）にも規模を拡大して開催。



ぬま活らぼチラシ



小学生によるレモネードスタンド

振り返りと課題

「はら逸品うまいものフェス」は世代を超えた交流の場へと発展し、地域を盛り上げる原動力となった。今後は担い手の継続的な参画と協働強化を課題とし、持続可能な地域づくりに向けた取組を続けていく。

事業を通してつながった人・団体

企業：コーストFM、明治安田生命、株式会社プラエッジ、協賛事業所、出演団体企業、出店事業所
教育機関：日本大学国際関係学部
団体：駿東伊豆消防本部、日本赤十字社静岡県支部、自衛隊静岡地方協力本部

予告：令和7年11月9日（日）
原地区センターにて第9回はら逸品うまいものフェス開催！